



さあ！夏休み

—今しかできない、今だからできる
何かにチャレンジを！！—

(夏休み集会 学校長の話より)

明日からみなさんが楽しみにしている夏休みが始まります。今年の夏休みは、38日あります。夏休みは、普段学校がある時にはない「自由な時間」が沢山あります。自分で考え行動できる時間です。この時間を、どう有意義に使うかをしっかり考えてください。小学校時代の「今しかできない、今だからできる何か」にチャレンジしてほしいと思います。

例えば、観察や実験、調べ学習です。「夏休み中、毎日時間を決めて生き物を観察する。」「条件を変えながら、いろいろな実験を積みかさねる。」「今までの学習で興味を持ったこと(歴史上の人物や日本各地の特産物、オリンピックの競技や歴史など)をいろいろな本で調べる。」これなら、宿題の一つである自由研究としてまとめることができます。何か興味のあることに、時間をかけて調べてみてはどうでしょう。

今年は、私たちのすぐ近く、大阪で「大阪・関西万博」が開かれています。世界中からたくさんの方が集まり、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマのもと、未来のくらしや科学、環境のことなどが紹介されています。夏休みの間に、家族と一緒に万博を見に行くのも、とてもよい学びの機会になると思います。未来の乗り物や、世界の文化にふれることで、「こんなことをしてみたい」「こんな仕事をしてみたい」と思えるかもしれません。

また、毎年言われていることだとは思いますが、読書をしましょう。難しい本でなくてもいいです。新聞や図鑑などで知識を深めるのもいいでしょう。マンガでもいいと思います。何かを読むことで、自分の知らないことを知り、もしかしたら本の中のたった一行の文章で、自分の見方が大きく変わることがあるかもしれません。校長先生は、『舟を編む』という国語辞典を作っていくドラマを見て、言葉の大切さ、話すことの大切さを学びました。国語辞典を新しく買い、言葉を調べるときは辞書で調べようとしています。みなさんも、本やマンガ、ドラマ、YouTube など、何でも

いいので、新しい発見をして何かに取り組んでほしいと思います。

最後に、夏休みは、普段以上に人の移動が多いです。交通ルールに気を付けてください。公共の場(公園・道路・お店など)での行動に気を付けてほしいと思います。自分の身を守るだけでなく、周りの人にも気を配れるようになってください。

夏休みが終わった時、担任の先生や校長先生に「こんなことにチャレンジしたよ。」と教えてください。8月26日、元気なみなさんとの再会を楽しみにしています。

豊かな体験と心の充電

保護者のみなさま、地域のみなさま、この夏休み、子どもたちには、多くの出会いや体験をさせてほしいと願っています。初めての出会いや体験が、子どもの「夢」となり、子どもの新たな輝きになるかもしれません。ゲームから離れ、夢中になって取り組める素敵な何かが見つかるかもしれません。

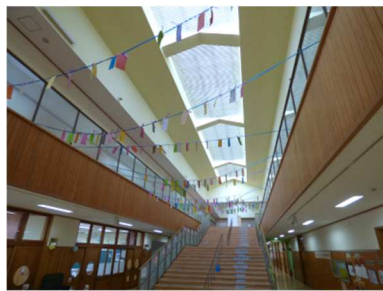
「トーマス・エジソン」の名言の中に、『困るということは、次の新しい世界を発見する扉である』という言葉があります。成功体験も大切ですが、うまくいわずに困った時こそ、その先に子ども達の未来につながる新しい世界が広がるかもしれません。困ったときにすぐに手を差し伸べるのではなく、考える時間、工夫する時間を与えてあげてください。(少しのアドバイスはOKです。)失敗を積み重ね成功した時、自分で新しい扉を開くことができた時の感動は必ず子ども達の人生の糧となるはずです。どうぞ夏休みには、いろいろな出会いや体験をさせてあげてください。

とはいうものの、夏休みは、楽しい反面、危険もいっぱいです。学校でルールを守ることと同様に、社会のマナーも学んでいってほしいと思います。38日という長期間、保護者の皆様、地域の皆様から社会のマナーを学んでほしいと考えています。ご協力よろしくお願いします。



七夕集会

7月8日(火)児童会行事として、全校縦割りで七夕集会を行いました。縦割りのグループ単位で各



教室に入り、最初にタブレットを用いて、児童会役員が演じた七夕の絵本の読み聞かせを見ました。その後、各教室で自分の願い事を短冊に書きました。時間に余裕のあった班は、準備してあった七夕クイズを行いました。七夕の学習ができるようにしっかり考えられた問題でした。

書かれた短冊は、天の川に見立てたテープに貼り付け、児童玄関を入ったフリースペースの上に張っています。

児童会役員を含む代表委員会では、あいさつ運動なども行っています。学校をどんどん活性化してほしいと思います。

《避難訓練・引き渡し訓練》

6月18日(水)午前中には、気象庁主催の緊急地震速報訓練を行いました。各教室に設置してある橋本市の戸別受信機から緊急放送が流れます。その放送に合わせて机の下に隠れる訓練を行いました。午後からは、火災の避難訓練を行いました。この日は、訓練について総評をいただくために橋本北消防署から3名の方々に来ていただきました。

訓練では、『お・は・し・も』のルールをきちんと守り、避難できました。避難後、教員を対象に消火訓練を行いました。その様子



を子ども達も見て、学習しました。隊員の方からも、教室での対応や避難の仕方について、ほめていただきました。

避難訓練終了後、引き渡し訓練を行いました。授業中に警報が発表されたと仮定して、保護者の方々に迎えに来ていただく訓練です。

昨年同様、学年毎に時間差を設け、運動場を駐車場としました。実際に警報が発表されたり、大地震が起こったりした時にはどうなるのか予想はできませんが、訓練は引き続き行っていききたいと思います。

服のチカラ プロジェクト

6月22日(木)今年もユニクロから来ていただき、5年生が『届けよう 服のチカラ プロジェクト』について説明していただきました。

自分たちは、理由を考えず着ている服ですが、「服は何のために必要なのか？」から授業が始まり、服の持つ様々な力について考えることができました。そして、自分たちの服が世界の人々の役に立つことを知りました。そこで、あやの台小学校では子供服を集め、ユニクロ、そして国連を通して難民キャンプに送る活動にここ数年取り組んでいます。服の集め方については、5年生が中心となり各家庭・地域に伝えていけたらと考えています。持続可能な世界のために自分たちができることを考え、行動していくESD活動の一環として進めていきます。

『利他の蓮華』

高野口小学校出身で、現在東京大学先端科学技術研究センターの神崎亮平氏が中心となり進めてきた大阪・関西万



博展示「利他の蓮華」作成にあたり、伊都地方の小中学校が協力しました。この作品の土台部分の台紙に子ども達が絵や言葉を書いた和紙を貼り付けます。



6月28日(土)に台紙貼り付けイベントが県立体育館で開催され、本校から児童会役員3名が出席しました。この日までに、あやの台小学校314名分の和紙片をクラスごとに張り付け、その台紙を土台に張り付けました。富士通のデザイナー、高野山の宮大工の方々が力を集めて作ったものです。出席した3人は製作の話を聞いたり、貼り付け作業を行ったり、折り紙アーティストの方から折り紙を教えてもらったりと有意義な時間を過ごすことができました。この作品は、7/26に万博のイタリア館、8月には高野山金剛峰寺、10月には万博の和歌山ゾーンに展示される予定です。子ども達の関わった作品が世界の人たちに見てもらえると考えると、いい体験ができたなと思います。